

【取組内容⑤】「実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組等」

○動画配信サービスも利用した学校行事配信の高度化

①置き換えから受信者を考えた配信

全校集会や行事を生徒委員会の生徒と共に、効果的かつ最適化された配信の研究を進め、学校行事配信の高度化を図った。これまで音声優位や視覚優位のいずれかに偏りがあるコンテンツが多かったが、生徒の理解が最適に図れるよう、投影資料を用いた説明の徹底や、テロップ・文字認識機能等を活用し、Microsoft Teams等を活用し、誰にとっても内容が理解できる効果的な学校行事配信となるようにした。

②生徒広報委員会による配信

生徒委員会の一つである生徒広報委員会と共に、オンライン授業や学校行事配信における機器操作や配信作業を担うことで、学校のこれまでの授業では味わうことができない体験をさせることに挑戦させてみた。カメラやビデオミキサ、音声ミキサ等の操作や、配線の取り回し計画や設置、撤去作業を生徒ともに行うことで、日頃視聴しているテレビやYouTube等の動画配信サービスの裏側についても体験することができていた。

本校で取り組んでいる保護者等を対象とした配信の評価は大変高く、映像や音声が見やすく、テロップ等が適切に入っていてわかりやすいとの感想をたくさん頂いており、普及する取り組みが進んでいると感じている。



○成果物を保護者に共有するための工夫

①デジタル連絡ツールを活用した配布物のデジタル化

デジタル連絡ツールを利用し、生徒の成果物を保護者に共有したり、保護者宛の配布物を電子化した。4月から本格導入したところ、簡単にクラス単位で情報共有ができることから、配信数を紙に置き換えたところ「201,638枚」分をデジタル化し、印刷費用を圧縮することができた。保護者の反応もかなり好評であり、次年度以降も引き続きデジタル化の要望が上がっている。

②学校ホームページ及び公式ブログの充実

学校ホームページのCMS化をさいたま市教育委員会が実施したこともあり、CMSによる更新作業の簡略化と公式ブログの運用が開始できた。年度当初は週1回以上の更新を計画していたが、月1回程度の更新頻度になっている。公式ブログの更新は、学校でのトピックを取り上げて更新をするようにしている。

保護者や地域からも公式ブログの更新を楽しみにしている声が聞こえており、学校だよりも簡単に学校の情報を公開し、成果物の共有を図っている。

